

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	事業所の力を活かした地域貢献	現在の地域連携の枠をさらに拡大していく。(現状は学童保育の一貫として、学童・父兄・教師・民生委員との連携に努めています。)	1. 事前に年間行事やイベント計画書を地域の方々に配布して、参加願う。2. 同時に入居者への理解を深めて頂く。3. 共に内外の認知症高齢者を支援していく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加人員目標に未たず、さらに10名前後の構成員構築を目指す。	構成員の多様化を目指し、多様な意見を参考にする。例えば自治会役員や、地域に限定せず、高齢者を抱えている家族、興味、見識のある方なら誰でも参加願う。	12ヶ月
3	5	市町村との連携	顔の見える関係作り	1. 外部評価、情報公表結果の積極的な報告 2. 介護保険課主催研修会への積極的な参加 3. ボランティアの積極的な受け入れ。	12ヶ月
4	6	身体拘束をしない	年間0件	1. 委員会を設置してホーム内で定期的な会議や研修を開催する。2. ホーム内での研修では、事例や対策などの検討を行う。3. 外部研修があれば参加する。	12ヶ月
5	16	同業者との交流を通じた向上	表で分かる質の向上グラフを作成	項目をグラフ化して、一覧性のあるものにしていく。例えば、同業者との交流件数・共通の悩み・困難事例の対策及び結果・利用者の満足度・職員の達成感等。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。